

はじめに

このたびは、(株)デジタル製プログラマブル表示器および画面作成ソフト「GP-Pro EX」をご採用いただき、まことにありがとうございます。

この製品を正しくご使用いただくために、マニュアル類をよくお読みください。

また、マニュアル類は必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

お断り

1. 「GP-Pro EX」(以下本製品といいます)のプログラムおよびマニュアル類は、すべて(株)デジタルの著作物であり、(株)デジタルがユーザーに対し「ソフトウェア使用許諾条件」に記載の使用権を許諾したものです。当該「ソフトウェア使用許諾条件」に反する行為は、日本国内外の法令により禁止されています。
2. 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一お気づきの点がありましたら、「デジタルお客様センター」までご連絡ください。
3. 前項にかかわらず、本製品を使用したことによるお客様の損害その他の不利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、(株)デジタルはその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 製品の改良のため、本書の記述と本製品のソフトウェアとの間に異なった部分が生じることがあります。最新の説明は、別冊ないし電子的な情報として提供していますので、あわせてご参照ください。
5. 本製品が記録・表示する情報の中に、(株)デジタルまたは第三者が権利を有する無体財産権、知的所有権に関わる内容を含むことがあります。これは(株)デジタルがこれらの権利の利用について、ユーザーまたはその他の第三者に、何らの保証や許諾を与えるものではありません。また本製品に記録・表示された情報を使用したことにより第三者の知的所有権などの権利に関わる問題が生じた場合、(株)デジタルはその責を負いませんのであらかじめご了承ください。

(C) Copyright 2013 Digital Electronics Corporation. All rights reserved.

商標権などについて

本書に記載の会社名、商品名は、各社の商号、商標(登録商標を含む)またはサービスマークです。本製品の表示・記述の中では、これら権利に関する個別の表示は省略しております。

1 マニュアルの読み方

マニュアル構成

「機器接続マニュアル」は、接続機器の接続方法を説明するマニュアルです。本書以外に以下の2冊のマニュアルがありますので、あわせてご覧ください。

これらのマニュアル類のほかに、データファイルとして補足説明や機能の追加・修正情報が添付されていることがあります。

Windowsの[スタート]ボタンをクリックし、[プログラム(P)] [Pro-face] [GP-Pro EX]の順にポイントし、[お読みください]をクリックし、表示された内容をご覧ください。

なお、表示器に関する詳しい説明は、「ハードウェアマニュアル」をご覧ください。



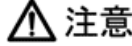


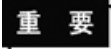
リファレンスマニュアル	GP-Pro EXの操作方法と各種機能の詳細について説明したマニュアルです。CHMデータで収録されています。
保守/トラブル解決ガイド	GP-Pro EXを使用中に発生したエラーや現場で発生したトラブルの対処方法について説明したマニュアルです。CHMデータで収録されています。
機器接続マニュアル	GPと各社の接続機器との接続方法について説明したマニュアルです。CHMとPDFデータで収録されています。

2 表記のルール

本書は、以下のルールで表記します。



安全に関する注意表記

本書では、GP-Pro EX を正しく使用していただくために、注意事項に次のような絵表示を使用しています。ここで示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味内容
 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う内容を示します。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。
	正しく使用するために、してはいけない（禁止）事項です。
	正しく使用するために、しなくてはならない（強制）事項です。
 重要	正しく使用するために、しなくてはならない（強制）事項です。 この表示の説明に従わない場合、機器の異常動作やデータの消失などの不都合が起る可能性があります。

説明のための表記

本書では説明の便宜のため、次のような絵表示や記号で表記します。

表示	意味内容
 MEMO	使用するに際して、ポイントとなる項目です。
※	脚注で説明している語句についています。
	関連事項の参照ページを示します。
1, 2	操作手順です。番号に従って操作を行ってください。








用語について






本書では次のような用語や総称を使用して説明しています。

表示	意味内容
表示器	GP、ST、LT、IPC、PC/AT の総称です。
GP3000	GP3000 シリーズを指します。
GP4000	GP4000 シリーズを指します。
ST	ST3000 シリーズを指します。
LT3000	LT-3300 シリーズを指します。
IPC	以下のシリーズを指します。 PS-2000B シリーズ PS-3450A、PS-3451A シリーズ PS-3650A、PS-3651A シリーズ PS-3700A(Pentium [®] 4-M) (REV.J 以降) PS-3710A、PS-3711A シリーズ PS3000-BA、PS3001-BD シリーズ PS4000 シリーズ PL3000 シリーズ
PC/AT	Windows [®] 2000 (Service Pack3 以上) または Windows [®] XP、Windows Vista [®] 、Windows [®] 7 をインストールしたパーソナルコンピュータを指します。
PLC	プログラマブル・ロジック・コントローラを指します。

使用可能デバイスに関する表記


接続機器マニュアルの「使用可能デバイス」についているマークの意味は、以下のとおりです。

表示	意味内容
	アドレスは 8 進数で指定します。
	ワードアドレスは、下 1 桁目が 0 の値のみ指定します。
	ワードアドレスは、16 の倍数の値のみ指定します。
	ワードアドレスは、16 の倍数 +1 の値のみ指定します。
	ワードアドレスは、偶数の値のみ指定します。
	ワードアドレスは、8 の倍数の値のみ指定します。
 *1	ビット指定できます。ワードアドレスの後にビット位置をつけます。ビット位置は 0 ~ 15 で指定します。

表示	意味内容				
 *1	ビット指定できます。ワードアドレスの後にビット位置をつけます。ビット位置は0～Fで指定します。				
 *1	ビット指定できます。ワードアドレスの後にビット位置をつけます。ビット位置は0～7で指定します。				
 *1	ビット指定できます。ワードアドレスの後にビット位置をつけます。ビット位置は0～31で指定します。				
	2ワード（32ビットデータ）を使用する場合のデータの上下関係は、以下のとおりです。 <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <tr> <td>0</td> <td>L（下位）</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>H（上位）</td> </tr> </table> </div>	0	L（下位）	1	H（上位）
0	L（下位）				
1	H（上位）				
	2ワード（32ビットデータ）を使用する場合のデータの上下関係は、以下のとおりです。 <div style="text-align: center;"> <table border="1"> <tr> <td>0</td> <td>H（上位）</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>L（下位）</td> </tr> </table> </div>	0	H（上位）	1	L（下位）
0	H（上位）				
1	L（下位）				

*1 ビット指定で書き込みをした場合、指定したビット以外の他のビットはすべてOFF(0) されます。

「使用可能デバイス」のデバイス範囲はすべて最大設定範囲です。接続機器によって記載の範囲より小さいものもあります。詳細は、ご利用になっている接続機器のマニュアルをご参照ください。

 のついているデバイスは、システムエリアに指定できます。

参照：GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア（ダイレクトアクセス方式専用エリア）」

3 お問い合わせ

お問い合わせの前に

お問い合わせの前に以下の情報から類似する問い合わせ内容があるかどうか、ご確認ください。

- 「保守 / トラブル解決ガイド」
開発中に発生したエラー情報やトラブル解決策のほか、現場でのメンテナンスに役立つオフラインモードの操作方法などが載っています。
- サポート専用サイト「おたすけ Pro!」
「おたすけ Pro!」には、ご質問・ご要望にお答えできるコンテンツを多数ご用意しています。
<http://www.proface.co.jp/otasuke/>

お問い合わせ先

デジタルお客様センターでは、ご購入前のご相談、ご購入後の技術相談、故障時の修理受付など、どのようなご相談もうけたまわります。

デジタルお客様センター受付電話番号

	平日 月～金	土日祝 (12/31～1/3は除く)
9:00～17:00	大阪 06-6613-3115 東京 03-5821-1105 名古屋 052-961-3695	技術相談専用ダイヤル 06-6613-3206
17:00～19:00	技術相談専用ダイヤル 06-6613-3206	---
FAX	06-6613-5982	

技術相談専用ダイヤルは、技術相談のみです。

PL/PS/FPのご相談は平日 9:00～17:00での対応です。

お問い合わせの際には、以下の情報をお知らせください。

- 氏名
- 連絡先の電話番号
- 使用機種
- 使用環境

問題点、現象、操作をした手順などをあらかじめ書き留めてからご連絡ください。